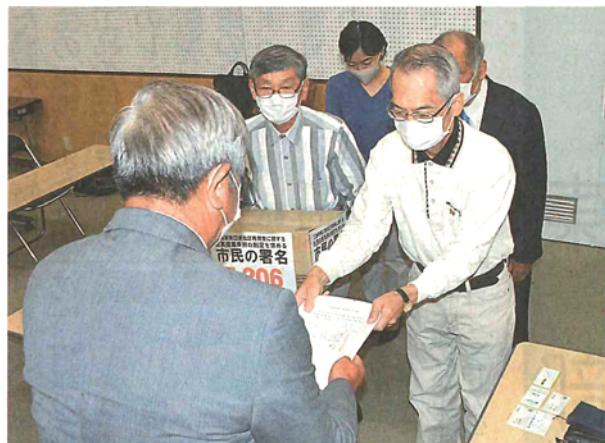


令和2年(2020年)9月24日(木曜日)

三島駅南口東街区再開発事業に充てられる方向で、公明や県と協議を進める意向を明らかにした。同日の市議会9月定例会で、村田耕一氏(公明)の一般質問に答えた。



5206人分の署名を市選管に提出する関係者

=三島市役所

三島駅南口東街区再開発事業に充てられる方向で、公明や県と協議を進めることになった。市は「駐車場収益を再開発の財源に充てるのは合理的」と説明した。既に10億6千万円が市に寄付されることが決まり、残りの約14億円についても協議を経て寄付が承認されれば予算計上する方針。これにより、約56億円を見込む市の負担が大幅に軽減されることになる。

市が支出する25億円の補助金は空き地や通路、駐車場など不特定

市が1997年に多数が利用する「共同画費」が7%との内訳も示した。商業施設や住宅などの専有部は「補助の対象外」としても登壇した。(三島支局・金野真仁)

中村仁(緑水会)、河野月江(共産)、沈久美(新政会)の3氏が27%、「調査設計計画」が7%、「施設整備費」に66%が開発事業用地を暫定充てられ、残りは解体駐車場として運用していくことから、市は